

C：福島県スパリゾートハワイアンズ
田邊裕（1999・経営）

発災直後より東日本大震災の情報は主に新聞やテレビなどの報道を経て入手していましたが、常にどこか遠い世界のことのように思えてなりませんでした。圧倒的な津波に飲み込まれる映像をみて、まるで映画を見ているかのような気持ちで眺めていたのですが、今回のツアーで初めて現地を訪問することで強烈に現実の世界の事実であることを改めて深く思い知りました。学生時代を同じキャンパスで過ごしていた立命館大学卒業生の自宅が門扉を残し、跡形もなくながされていた状況を目の当たりにした際には、言いようもない恐怖感を覚えました。また、自分の生活が厳しい状況にある中でも我々校友のために時間を割いて頂き、震災当日やその後の生活をつぶさに語って頂いた現地校友の方々のご協力に深く感謝するとともに、あの未曾有の大震災を経験しながらも、強く生きている姿には大きな感銘受けました。「被災地のことを忘れないで欲しい」被災地校友の方々が共通して思っておられることをしっかりと受け止め、息の長い支援活動を行い続けていこうと、強く心に刻みました。